

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/19 （4/12との比較）	4/19 （4/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.77% （▲0.02）	83.58円 （▲0.59%）	+1.6% 2018年4Q	1.75%	発表された製造業売上高は市場予想を下回ったが、小売売上高は市場予想を上回る結果。原油価格については底堅く推移する中、カナダドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	金融政策決定会合を控えているほか、卸売上高などが発表予定。金融政策については現状維持が予想される中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	8.12% （▲0.06）	28.50円 （▲1.24%）	+1.1% 2018年4Q	6.50%	発表されたPPI（生産者物価指数）や、月次の貿易収支は良好な内容。議会委員会での否決を受け年金改革法案に対する先行き不透明感が高まる中、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	インフレ率や経常収支などが発表予定。引き続き、年金改革などボルソナロ大統領の政策や景気動向などに注目が集まる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	↗	↗ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.89% （+0.10）	5.96円 （▲0.21%）	+1.7% 2018年4Q	8.25%	発表された登録雇用創出は前月から増加額が減少。一方、米国との国境問題など政治面での新たな進展はなかった模様。メキシコペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	失業率や貿易収支などが発表予定。引き続き、米国との国境問題や経済政策に関する動向から目が離せない状況。相対的に利回りが期待できる通貨であるとの見方から、メキシコペソは底堅い動きを想定。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	↗ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/19 （4/12との比較）	4/19 （4/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.95% （+0.07）	80.04円 （▲0.37%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	発表された雇用者数は市場予想を大きく上回ったほか、景気先行指数も前月を上回る内容。公表された政策決定会合議事要旨はややハト派寄りを受け止められたこともあり、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	CPI（消費者物価指数）やPPIなどが発表予定。中国も含めた景気刺激策や、5月の総選挙に向けた政治動向に関する動きへの期待が高まる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	1.97% （▲0.05）	74.82円 （▲1.26%）	+2.3% 2018年4Q	1.75%	発表されたCPIが市場予想を下回る結果となったことなどを受けて、5月の利下げ観測が高まったことなどから、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数や貿易収支などの発表があり、相場への影響に注目。祝日が2日あることから、積極的な取引は手控えられる可能性が高く、債券・為替市場ともに方向感に乏しい展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.82% （+0.04）	13.15円 （▲0.38%）	+1.7% 2018年4Q	1.00%	発表された貿易収支は前回比で黒字幅が縮小する結果となったものの、相場への影響は限定的。材料難のマーケットの中、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは小幅な値動きの中で上昇。	鉱工業信頼感指数の発表があるものの、影響は限定的と予想。金融政策の正常化を継続する可能性が高いと思われることや、原油価格が底堅い推移となっていることなどから、ノルウェークローネは底堅い推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/19 （4/12との比較）	4/19 （4/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.65% （+0.02）	7.96円 （▲0.71%）	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表されたCPIは市場予想を若干下回ったが、小売売上高は市場予想を上回る内容となり、同国経済の見方に方向感が出るには至らず。ランドは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	PPIなどの発表を予定。国内経済の動向は芳しくないものの、世界的にリスクオン方向へ投資意欲が継続していることなどから、債券・為替ともに上値を試す展開を想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.11% （▲0.06）	0.80円 （+0.47%）	+5.2% 2018年4Q	6.00%	発表された貿易収支は赤字予想に反し黒字の結果。17日に投開票された大統領選挙でジョコ氏が再選したことなども下支え要因となり、インドネシアルピアは対円で上昇。国債利回りは低下。	大統領選挙の正式な結果は5月22日までに選挙管理委員会から正式に発表される予定。ジョコ政権が継続することで経済政策に大きな変更はないと考えられ、債券・為替市場も底堅く推移すると予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	7.25% （+0.04）	1.61円 （▲0.36%）	+6.6% 2018年4Q	6.00%	発表された貿易収支は前月および市場予想を下回る内容。投票が進行する総選挙では与党BJP（インド人民党）が政権を維持するとの見方が続く中、インドルピーは対円で下落。国債利回りは上昇。	発表予定の経済指標が見当たらない中、総選挙においてモディ首相が再選するかどうか引き続き注目が集まる。大きな波乱はないと考えられるが、債券・為替市場ともにその動向に反応する展開を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

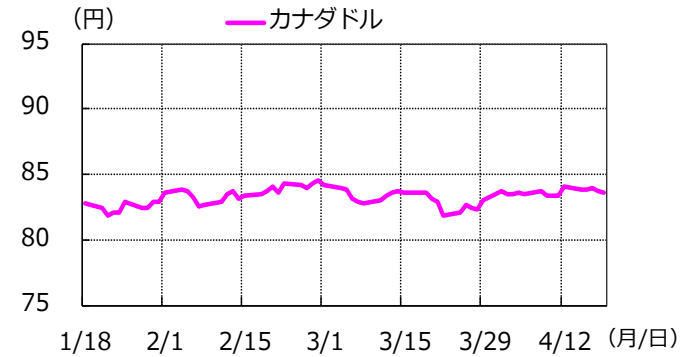
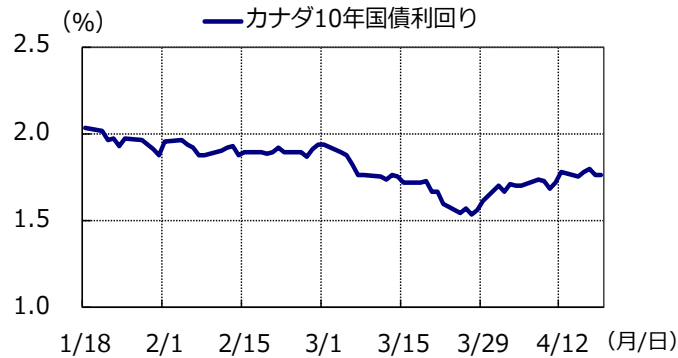
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

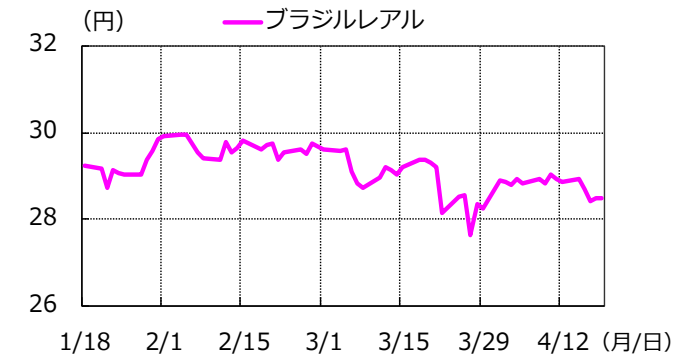
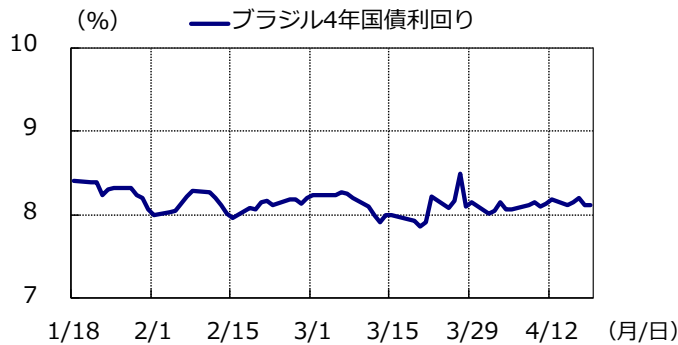
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/18～2019/4/19

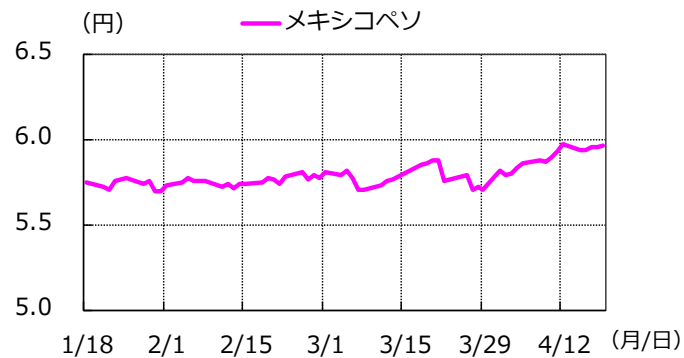
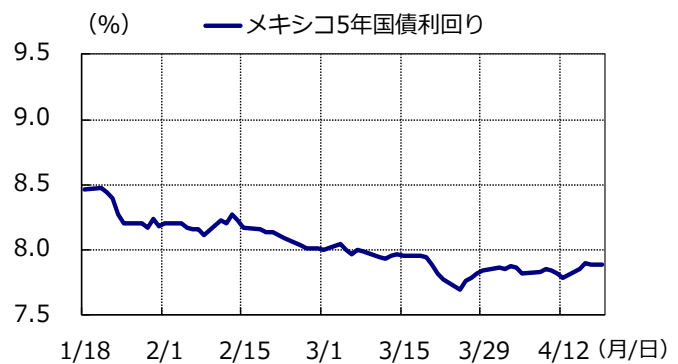
カナダ



ブラジル



メキシコ

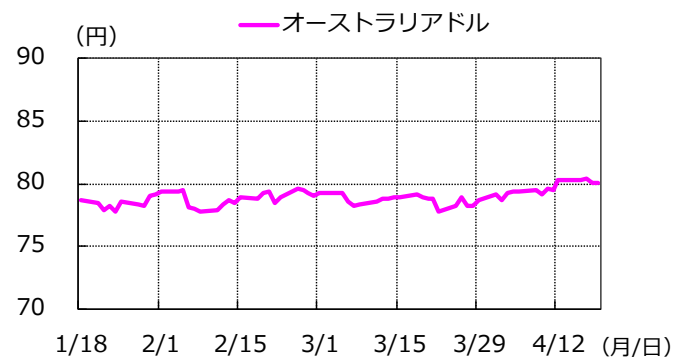
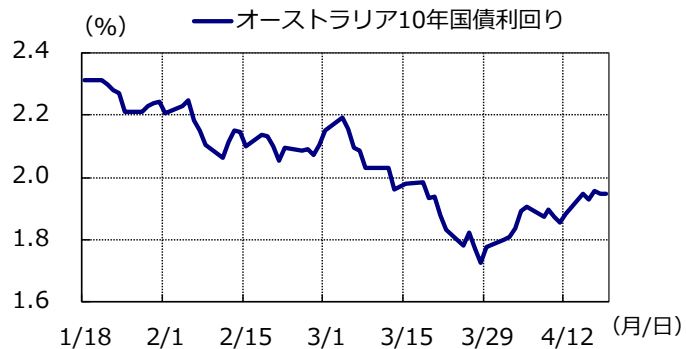


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

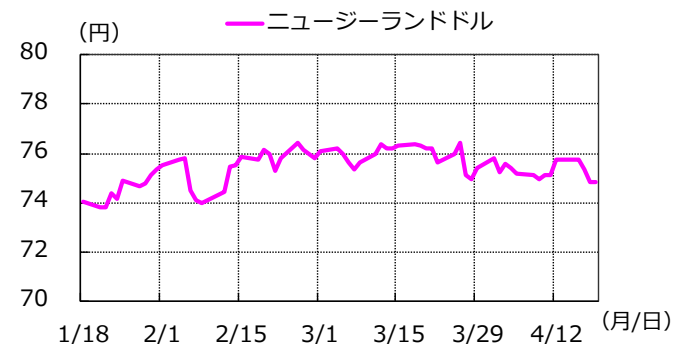
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/18～2019/4/19

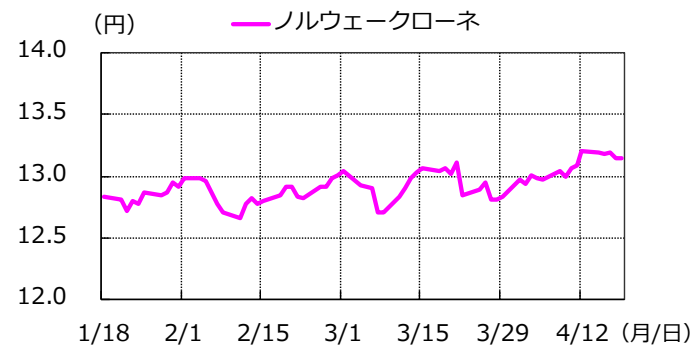
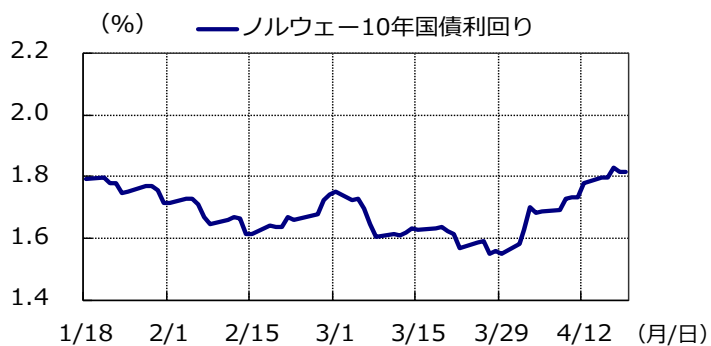
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

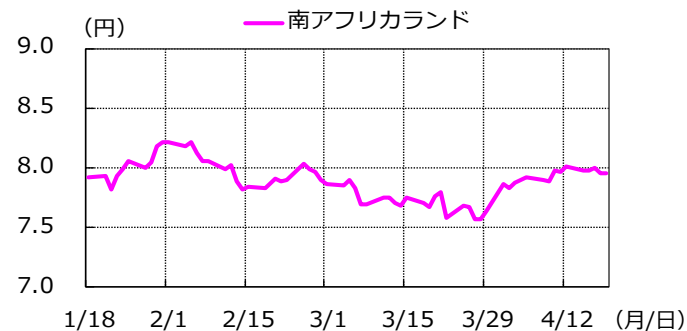
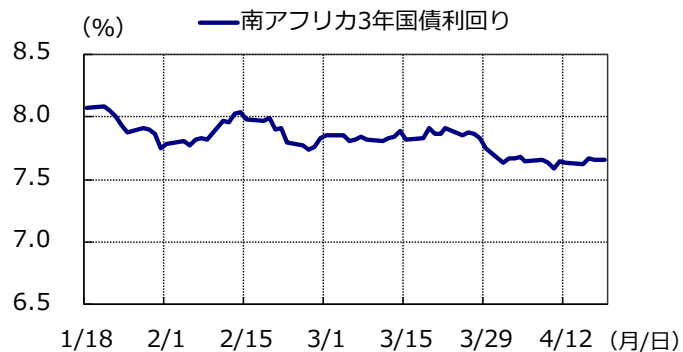


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

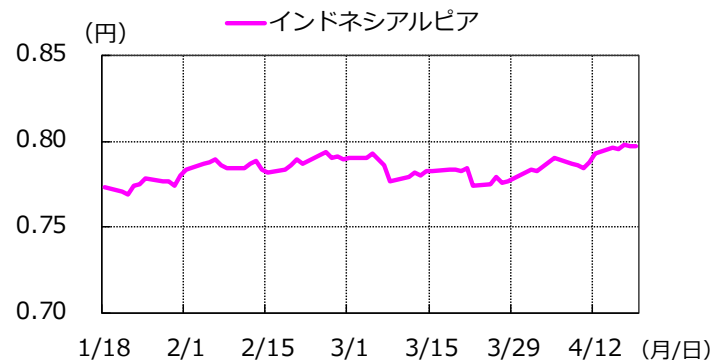
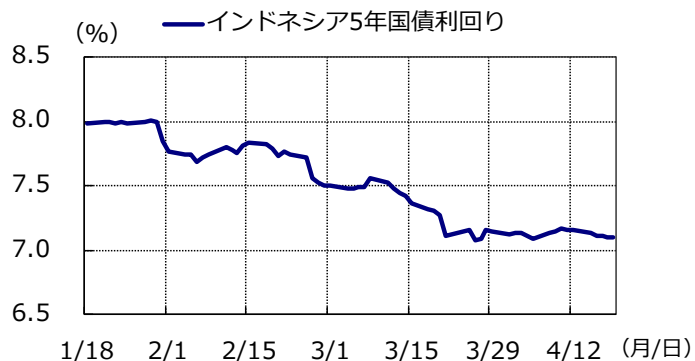
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/18～2019/4/19

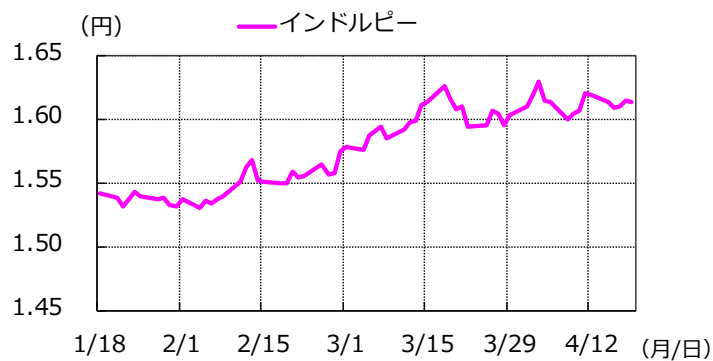
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。